



# 城北小だより

7月号

令和5年6月30日

さいたま市立城北小学校

TEL 048-757-5391

児童数696名

◇学校教育目標◇

「考える子 思いやりのある子 がんばりぬく子」

## 「目をさませ いじめの道から いい道へ」

校長 中村 篤

今年も正門を入ると、授業で栽培しているアサガオやハウセンカ、ミニトマトが青々としています。雨が降らなかった休み明けの月曜日、子どもたちはしおれている植物を心配し、いつもより熱心に水やりをしていました。感心したのはその後です。「〇〇さんのものにも水をあげよう」と言いながら、土が乾いている友達の水鉢に水やりをしてくれる子が何人もいたのです。嫌な顔一つせず、水道と鉢の間を何往復もしてペットボトルに水を汲んできては水やりをする姿を見て、本当にうれしく思いました。

さて、6月はすべての市立学校において、いじめを許さない学校づくりを目指した教育活動を推進するために、6月を「いじめ撲滅強化月間」と位置付けています。本校でも、昨年度同様、様々な取組を実施しました。

6月21日（水）に6年生を対象に、スクールロイヤーによるいじめ防止教室を実施しました。はじめに次のような事例が紹介されました。「クラス対抗リレーの代表を10名決めるところに、11名の立候補者が出た。くじを引くことになり、足の遅いA君が当選し、足の速いB君が落選してしまった。『B君が当選すればよかったのに』という声が聞かれた。そして本番、リレーは最下位に終わり、A君はクラスメイトから『負けたのはA君のせいだ』と言われた」というものです。この事例について①これはいじめである、②いじめではない、③これだけではわからない、という3つの選択肢に対し、6年1組の児童の意見は①13人、②2人、③多数、となりました。質問を変え、「A君は傷ついたと思う人」と問われると、ほぼ全員が手を挙げました。相手が「嫌だ」「傷ついた」と思ったらそれはいじめであると説明を受け、この事例は①の「いじめである」ということに皆納得していました。

また、「いじめ撲滅」啓発ポスターを活用し、各学級で児童自ら話し合い、いじめ撲滅に向けた学級スローガンを決定しました。ハートフル集会では4～6年生のスローガンが発表されました。

- 4-1 「ぼくがいる 助け合えば 最強だ」
- 4-2 「『おねがいやめて』未来の自分が さげんでる」
- 4-3 「目をさませ いじめの道から いい道へ」
- 4-4 「悪口のその一言で傷つける いじめはね自分も友もやなきぶん」
- 5-1 「いじめはね あやまるだけじゃ なおらない」
- 5-2 「みのがさない いじめしたら 助けよう」
- 5-3 「いじめなし やさしい心 大切に」
- 6-1 「いじめゼロ そしたら広がる 笑顔の輪」
- 6-2 「平和の木 力を合わせて 育てよう」
- 6-3 「いじめなし プラス+の言葉を 言い合おう」



本年度の城北小学校のスローガンは、4年3組のスローガンに決定しました。

最近、新聞等で学校がいじめを把握しながら適切に対応しなかったために、いじめの「重大事態」にまで発展したという事案が多く報道されています。本校ではそのようなことにならないよう、教職員一同アンテナを高くし、子どもたちを注意深く見守っていきます。また、6月の取組に引き続き、心と生活のアンケートや人間関係プログラムの実施、あいさつ運動、道徳教育の充実等、いじめ撲滅に向けて学校全体で取り組んでまいります。ご家庭でもお子様を温かく見守っていただき、もし何かご心配なことがありましたら、遠慮なく学校にご相談ください。学校と家庭が連携し、笑顔あふれる城北小学校にしていきましょう。